

地図上で学ぶプログラミング学習ツール 新商品「まなっぷ Home Edition」を7月27日に発売！ ～ご家庭で気軽に取り組めるよう、子どもたちの自発的な学びを支援～

株式会社ゼンリン(本社:福岡県北九州市、代表取締役社長:高山善司、以下ゼンリン)は、地図上でプログラミング学習ができる新商品「まなっぷ Home Edition」を、2022年7月27日(水)よりゼンリン公式オンラインショップ ZENRIN Store にて発売します。価格は月額550円(税込)です。

ゼンリンは、2022年3月に教育機関向けのプログラミング学習ツール「まなっぷ School Edition」の提供を開始し、小学校の「総合的な学習」「社会」の時間などで導入いただいています。本商品は、ご家庭でも気軽にプログラミング教育を取り入れていただけるよう、子どもたちの自発的な学びを支援する家庭向けの商品です。

「まなっぷ Home Edition」商品サイト: <https://www.zenrin.co.jp/product/category/education/manap/home/index.html>

■「まなっぷ Home Edition」とは

地図を使ってプログラミング的思考を学べる、Web ブラウザ型のプログラミング学習ツールです。

旅行の計画や災害時の避難ルートを考える時など、地図は私たちの生活の身近なところにあります。本商品では、知っている街や行ってみたい場所の“オリジナル地図”を作ることができ、プログラミングをより身近なものとして学習を進めることができます。



＜「まなっぷ Home Edition」でできること＞

ブロックを組み合わせてプログラミングを行うことで「①線を引く・キャラクターを動かす」、「②写真や動画を表示する」などの表現を、地図上で行うことができます。また、「線を引く」や「色ぬりを表示」機能を組み合わせることで、地図上に絵を描くことも可能です。

これらの機能を活用し、子どもたちがフィールドワークで発見したものや、興味のある事柄について調べたことなどを地図上に表現することができます。地図上に自由な表現を行う過程で、物事を順序立てて整理するプログラミング的思考や、子どもたちの探求心を育むことができます。

①線を引く・キャラクターを動かす



②写真や動画を表示する



●地図上にお絵かき・色ぬり



■「まなっぷ Home Edition」の特長

①直感的な操作により、地図上で様々な表現が可能

学校現場でメジャーなプログラミングソフト「Scratch」^(※)のUIを採用しています。ブロックを組み合わせてプログラミングを行う直感的な操作で、写真や地図記号の表示、線の描画など、地図上で様々な表現が可能です。そのため、未経験の方でも簡単に操作することができます。 ※Scratch について: <https://scratch.mit.edu>



▲操作画面(イメージ)

②子どもたちの自発的な学びを支援

本商品は、Webブラウザ型サービスの「プログラミング教材」と合わせて、操作方法などを記載したマンガ形式のガイドブック「はじめてのまなっぷ」、子どもたちの自発的な学習を支援する「ミッション」をセットで提供します。

ガイドブック「はじめてのまなっぷ」・「ミッション」は、子どもたちが理解しやすいよう、キャラクター同士の会話形式で説明を記載しており、子どもたちが自発的に楽しく学べる仕組みとなっています。



▲ガイドブック「はじめてのまなっぷ」



▲「ミッション」

学年	ミッション名
3	みちかな生きものをしらべよう
4	キミの県のイベントを調べよう
5	都道府県の特ちょうを調べよう
6	行ってみたい国について調べよう

▲提供開始時(2022年7月)の「ミッション」

- ・「まなっぷ Home Edition」の世界観をマンガ形式で掲載
- ・基本的な操作について、お子さま一人でも楽しく理解することが可能

- ・「ミッション」をクリアしていくことで本商品の活用方法が身につく、同時に達成感も味わうことができる
- ・学年別の授業テーマに沿ったものや、子どもたちの好奇心を刺激する「ミッション」を定期的に更新

■「まなっぷ Home Edition」商品概要

商品名	まなっぷ Home Edition	発売日	2022年7月27日(水)
価格	月額550円(税込)	対象学年(目安)	小学校3年生～
利用環境	PC やタブレット端末のブラウザ上(Microsoft Edge、Google Chrome、Safari など)で利用可能		
商品サイト	https://www.zenrin.co.jp/product/category/education/manap/home/index.html		